

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束に関する研修を受け、職員同士で注意すること、ミーティングでは事例をあげ検討を行っているが、スピーチロックをしない、接遇について一人ひとり考え、振り返り、人格を尊重した言葉がけへの努力が必要である。	身体拘束の一つである言葉による行動の制止を行わないよう、接遇、対応、言葉のかけ方に注意をしたケアに取り組む。	・ミーティング時には日々ケアの中で、適当でない言葉のかけ方がなかったを振り返る。 ・その方の立場にたち、行動を思いやり支援することを心がける。	12ヶ月
2	26(10)	本人や家族の希望等を基に介護計画を作成し、その方にとって好きなことや得意なことを大切に、個性を重視した介護計画を立案しているが、個人記録が介護計画を意識した記述が少ない。	介護計画は個別性を重視したものであることを続け、日々の記録は介護計画に沿った内容とし、目標達成と今後の支援に活かしていく。	日々の記録には、体調不良等特変時の記述も残すが、介護計画に沿った記録であることに意識を持ち記録を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。